

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-1

1. 事業概要

事業名	内部管理事務				
目的及び内容	事務局の管理運営(会議開催、経理、庶務など)				
目標(値)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	目標値				
	実績値				

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)	
コスト	89,610,157	97,239,288	99,650,729	109,194,401	
事業費	51,862,217	59,708,215	51,746,010	55,526,000	
財源内訳	補助金・負担金	50,003,070	57,532,278	51,718,720	46,890,000
	うち県分	49,979,251	57,506,459	51,691,374	46,890,000
	受託料等	315,761	287,040		343,000
	うち県分	321,229	287,040		343,000
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入	1,480,372	1,887,603	252	8,292,000
	使用料・入場料等				
	借入金				
	その他(上記以外)	63,014	1,294	27,038	1,000
人件費	37,747,940	37,531,073	47,904,719	53,668,401	
職員別内訳	役員、評議員	6,373,032	6,377,265	6,378,608	6,300,000
	正規職員、その他職員	31,374,908	31,153,808	41,526,111	47,368,401

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明		

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-2

1. 事業概要

事業名	人材育成・定着事業				
目的及び内容	県内7地域の雇用推進団体等が行う以下の事業に対して、必要な経費の一部を助成する ・雇用環境整備に資する研修会 ・企業見学会等				
目標(値)	実施団体数(雇用環境整備に資する活動を行う雇用推進団体等の全県展開)				
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	目標値	7団体	7団体	7団体	7団体
	実績値	7団体	7団体	7団体	

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)	
コスト	2,000,384	1,977,821	1,990,458	2,464,319	
事業費	1,323,000	1,312,000	1,286,000	1,400,000	
財源内訳	補助金・負担金				
	うち県分				
	受託料等				
	うち県分				
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入	1,323,000	1,312,000	1,286,000	1,400,000
	使用料・入場料等				
借入金					
その他(上記以外)					
人件費	677,384	665,821	704,458	1,064,319	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	677,384	665,821	704,458	1,064,319

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	b	(評価の目安) a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	<p>○雇用推進団体においては、この助成事業を活用して高等学校生徒の企業見学や教員と企業との情報交換等を行うなど、高校と企業との相互理解を図る取組を実施しており、効果があった。</p>	

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-3

1. 事業概要

事業名	無料職業紹介事業			
目的及び内容	幅広いUIターンを促進するため、UIターン希望者に特化した無料職業紹介事業を行い、求職者と県内企業との間の職業斡旋のため、(1)求人企業の開拓、(2)マッチング、(3)情報提供を実施する。職業紹介のほか、UIターン希望者への各種相談に応じるとともに、必要に応じて専門の関係機関への橋渡しを行う。 また、マッチング等を強化するために、企業見学等の企業体験事業を実施する。			
目標(値)	UIターン就職決定者数			
		R3年度	R4年度	R5年度
	目標値	324	331	337
	実績値	283	295	337

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)	
コスト	33,857,500	44,276,248	54,162,338	48,037,685	
事業費	8,819,703	14,170,981	21,315,707	9,548,000	
財源内訳	補助金・負担金	3,327,980	5,788,235	13,163,195	3,374,000
	うち県分	3,327,980	5,788,235	13,163,195	3,374,000
	受託料等				
	うち県分				
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入	3,327,980		5,177,195	3,374,000
	資産運用収入	2,163,743	8,382,746	2,975,317	2,800,000
	使用料・入場料等				
借入金					
その他(上記以外)					
人件費	25,037,797	30,105,267	32,846,631	38,489,685	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	25,037,797	30,105,267	32,846,631	38,489,685

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	a	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	<p>○令和6年3月末時点の求職者数は2,911人(前年度比+415人)となっており大幅に増加した。就職決定者数は337名(前年度比+42人)と、無料職業紹介事業を実施してから過去最高数かつ目標数と同数となり、着実に実績を積み上げている。今後きめ細やかな求人開拓を積極的に進めていくとともに、財団自主事業である企業体験事業等を活用しながら、マッチングをより一層進めていく。</p>		

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-4

1. 事業概要

事業名	若年者雇用対策事業				
目的及び内容	県(雇用政策課)の補助事業(令和元年度までは委託事業)として、以下の若年者の就職支援を実施する。 ・キャリアカウンセリング ・学生インターンシップ ・若者と企業のマッチング促進				
目標(値)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	目標値	①8,000人 ②4,000人	①8,000人 ②4,000人	①8,000人 ②4,000人	①8,000人 ②4,000人
	実績値	①4,544人 ②2,976人	①4,472人 ②3,033人	①4,167人 ②2,901人	

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)	
コスト	119,198,521	142,843,808	138,861,405	175,233,813	
事業費	59,202,670	77,079,518	67,637,836	80,312,000	
財源内訳	補助金・負担金	59,202,670	72,575,923	63,430,656	72,941,000
	うち県分	59,202,670	72,575,923	63,430,656	72,941,000
	受託料等		11,974		
	うち県分		11,974		
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入				
	使用料・入場料等				
	借入金				
その他(上記以外)		4,491,621	4,207,180	7,371,000	
人件費	59,995,851	65,764,290	71,223,569	94,921,813	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	59,995,851	65,764,290	71,223,569	94,921,813

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	b	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	○令和5年度のジョブカフェ来所者やキャリア相談利用者は令和4年度より減少しており、令和元年度以前(コロナ禍前)と比べて大幅に少ない状況が続いている。 ○就業体験事業については、三省合意の改正の内容を踏まえ3種類の就業体験を実施した(令和4年度までは2種類)。学生の多様なニーズに対応することができ効果があった。ジョブカフェしまねでマッチングを行う「しまね短期仕事体験」と新たに実施した「しまね学生インターンシップ」の参加申込者数は503人(令和4年度(旧)しまね学生インターンシップ484人)となった。令和6年度は、「しまね短期仕事体験」の受入れが進むよう、体験期間を短縮するなどの見直しを行う。 ○「しまね就職活動応援助成金」については、県内企業の人材確保と大学生等の県内就職等を図ることを目的に大学生等の就職活動等に要する経費に対して助成することで、学生の県内就活の負担軽減を図り効果があった。令和5年度助成実績は355人で、令和4年度410人と比べ減少しており、今後は学生や企業への周知を強化することが必要。		

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-5

1. 事業概要

事業名	地域づくり支援事業			
目的及び内容	地域課題の解決や将来の移住に繋げるため、地域づくりの担い手として関係人口を受け入れたい県内地域と関係人口の掘り起こし及びマッチングを行う。 また、自主的に取り組むNPO活動がより活性化するための支援を行うとともに、地域づくり人材の育成や地域おこし協力隊への研修会等を開催する。 さらに、田舎の存在意義や価値を都市住民とともに共有し、地域の誇りと活性化を目指すしまね田舎ツーリズムを推進する。 ・地域づくり活動総合支援事業(関係人口マッチングサイト、受入・参加助成金、マッチングイベント) ・しまね田舎ツーリズム推進事業 ・しまコトアカデミー事業 ・地域おこし協力隊支援事業 ・社会貢献活動促進事業			
目標(値)	①助成する実践的活動団体数(25年度~20団体)、②セミナー等参加者数24年度~1,700人)			
		R3年度	R4年度	R5年度
	目標値	①20団体、②1,700人	①15団体、②1,700人	①15団体、②1,700人
	実績値	①10団体、②1,469人	①13団体、②1,178人	①12団体、②1,559人

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)	
コスト	84,966,529	75,292,932	74,298,257	120,645,598	
事業費	33,069,721	28,166,401	31,414,941	69,062,000	
財源内訳	補助金・負担金	32,954,099	25,730,766	28,155,198	69,062,000
	うち県分	32,954,099	25,730,766	28,155,198	69,062,000
	受託料等	113,622	2,415,635	3,218,743	
	うち県分			292,606	
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入				
	使用料・入場料等				
	借入金				
その他(上記以外)	2,000	20,000	41,000		
人件費	51,896,808	47,126,531	42,883,316	51,583,598	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	51,896,808	47,126,531	42,883,316	

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	b	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	○関係人口と県内地域とのマッチングを行うポータルサイトの関係案内所「しまっち！」を運営し、134件のマッチングに繋がった。また、受入を行う地域の魅力化、受入体制整備にかかる経費を12団体に助成したほか、地域団体等の要請に応じて延べ5団体へアドバイザーを派遣し、その後の関係人口受入に繋がった。さらに、関係人口と地域団体との接点づくりのイベントをオンラインで5回実施し、関係人口と受入地域の意識の醸成を促した。 ○NPO法人や地域づくり団体を対象にした研修、専門相談、情報発信などに併せ、NPO法人の組織基盤、財政基盤強化のサポートを行った。 ○しまコトアカデミーでは4講座・44名が全5回の講座を受講。受講者数のKPIは未達であるが、受講後に具体的に地域活動に参加する動きや移住が発生した。また、修了生のフォロー強化に向け、修了生のニーズを確認する交流会を実施し、2回・22名が参加。今後のフォロー活動促進に繋げていく。		

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-6

1. 事業概要

事業名	定住支援事業			
目的及び内容	農林漁業等の「産業体験事業」やUターン者の定着を支援する「Uターン定着支援交流事業」等を実施する。			
目標(値)	Uターン産業体験事業による事業開始年度(平成8年度)以降の累積県内定着者(体験者含)数(～R3年度) Uターン産業体験事業における終了時定着者数【当該年度4～3月】(R4年度～)			
		R3年度	R4年度	R5年度
	目標値	1,198	75	75
	実績値	1,260	98	76

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)	
コスト	188,794,505	179,539,089	134,625,891	184,510,857	
事業費	167,431,263	157,239,312	112,044,347	158,322,000	
財源内訳	補助金・負担金	94,273,263	96,320,312	57,245,670	80,748,000
	うち県分	94,273,263	96,320,312	57,245,670	80,748,000
	受託料等				
	うち県分				
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入	60,672,020	58,000,000	48,148,319	77,574,000
	資産運用収入	12,485,980	2,919,000	6,650,358	
	使用料・入場料等				
	借入金				
その他(上記以外)					
人件費	21,363,242	22,299,777	22,581,544	26,188,857	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	21,363,242	22,299,777	22,581,544	26,188,857

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	a	(評価の目安) a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	<p>○「Uターンしまね産業体験事業」は、令和6年3月末時点で、累計体験者数が2,374人に達するとともに、令和5年度の終了時定着者数は76人(定着率81.7%)となっており、農林漁業などの分野で地域に与える効果は非常に大きい。</p> <p>○Uターン定着支援交流事業では、島根県にUターンした方と地域住民との交流会や体験プログラム実施に係る経費を助成した。(令和5年度実績:助成件数19件、参加人数523人、うちUI者200人)</p>	

1. 事業概要

事業名	定住総合情報提供事業				
目的及び内容	県外UIターンフェア等での相談対応の実施、ホームページ・情報誌・新聞等による情報提供を実施する。 また、大学・短大等に在学中の学生を対象として登録者に地域や県内企業の情報を提供する「しまね登録制度」を運用する。				
目標(値)	①しまねUIターン総合サイト「くらしまねっと」へのアクセス数 ②しまね登録者数(高校卒業時。R6年度からは基本情報を入力した人数を計上) ③県外フェア等における相談者・情報提供者数				
		R3年度	R4年度	R5年度	
	目標値	①1,800件/日 ②4,277人 ③800名	①3,698件/日 ②4,000人 ③1,500名	①4,383件/日 ②4,000人 ③1,500名	①4,383件/日 ②2,000人 ③1,800名
	実績値	①3,620件/日 ②3,767人 ③1,289名	①4,322件/日 ②3,313人 ③1,349名	①4,841件/日 ②3,381人 ③1,533名	

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)	
コスト	215,862,283	241,650,211	189,480,189	178,163,327	
事業費	174,254,063	199,720,058	150,535,640	127,323,000	
財源内訳	補助金・負担金	168,534,063	193,926,058	144,477,588	121,023,000
	うち県分	168,534,063	193,926,058	144,477,588	121,023,000
	受託料等				
	うち県分				
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入		100,000	364,052	840,000
	使用料・入場料等				
	借入金				
	その他(上記以外)	5,720,000	5,694,000	5,694,000	5,460,000
人件費	41,608,220	41,930,153	38,944,549	50,840,327	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	41,608,220	41,930,153	38,944,549	50,840,327

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	b	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	<p>○しまね移住情報ポータルサイト「くらしまねっと」内における、「暮らし」や「働き方」に関する情報を拡充させ、島根移住を検討される方に必要な情報が豊富になるように工夫したこともあり、サイトプレビュー数が昨年度比(+519件/日)と増加しており、目標数を大幅に上回ることができ、非常に効果があった。</p> <p>○しまね移住支援サテライト東京は、日比谷しまね館内のふるさと定住・雇用情報コーナー(R6年2月に有楽町の紫ビルに移転し、「しまね移住相談窓口(UIターン・学生支援)」に改称)及び交通会館内のふるさと回帰支援センターの都内2カ所に、移住支援コーディネーター3名を配置。移住イベント(セミナー、相談会)や情報発信により新規相談者増加を図るとともに、相談者のニーズや移住確度に添った細やかな相談対応を行った。</p> <p>R5年度のしまね館及び紫ビルの相談者数は314人でR4年度とほぼ同数となり相談人数は維持し、相談対応においては質・量の確保に努めている。</p> <p>○若者の情報収集の手段がSNS等に移行している状況を踏まえて開始した「しまね登録」について、県内各高校、県教育委員会、県雇用政策課と連携して登録を推進するとともに、LINEアプリを通じて学年等に応じた情報提供を行ったが、登録が進んでいない現状にあり、引き続き登録拡大に向け取り組んでいく。</p> <p>○移住イベントについては、オンライン開催のものを継続しつつ、対面イベントを拡充して開催した。対面イベントは東京・大阪で開催し、来場数が601人と昨年度比(+274人)と大幅に増加し、加えて新規事業として開催した「しまね暮らしマルシェ」には968組の来場があるなど新規顧客拡大の機会となった。対面開催とオンライン開催のそれぞれの良さを活かしつつ、県外移住検討者との出会いの場を数多く用意することができたことにより、前年度より多くの方に対して島根暮らしの魅力を伝えることができるとも効果があった。</p>		